

令和 7 年度 福島県 CBRNE 研修／実動訓練実施要領（案）

1 研修の目的

特殊災害の発生現場において、消防や警察によって現場を離脱し、医療機関へ搬送されてきた傷病者への適切な対応を学ぶ。

※CBRNE 実動訓練は、別冊「令和 7 年度 福島県 CBRNE 実動訓練実施要領」による。

2 研修の概要

災害時には医療資源と傷病者数の不均衡が生じる事が多く、防ぎ得た災害死が発生する可能性がある。「医療資源」の中には、医療資機材、対応人員、受け入れ医療機関数など、様々な要素が含まれる。

特殊災害により発生した傷病者を医療機関が受け入れる際に障害となる要因には自らの身体への影響、自らの医療機関の汚染など、二次被害（不確実な安全確保）がある。

2 日間の研修を通じて特殊災害（CBRNE 災害）に必要な知識、特殊災害の対応時に必要な行動とは何かについて普及を行う。

※CBRNE：化学物質(chemical)、生物(biological)、放射性物質(radiological)、核(nuclear)、爆発物(explosive)

3 日時（※時間は予定）

第 1 日目：令和 7 年 10 月 11 日（土） 8：30～18：30（予定）

第 2 日目：令和 7 年 10 月 12 日（日） 8：30～17：00（予定）

（実動訓練は、第 2 日目の午後実施予定）

4 研修実施場所

公立大学法人福島県立医科大学 福島駅前キャンパス
（福島県福島市栄町 10 番 6 号）

5 主催 福島県

6 受講定員

30 名（消防、警察を除く）

7 受講対象者

県内の医療機関等に勤務し、災害医療に携わる可能性のある医療従事者及び消防、警察に所属し、災害医療に携わる可能性のある者

※医療従事者は、日本 DMAT 隊員、福島県ローカル DMAT 隊員等の災害医療に係る資格の有無は問わない。

8 受講方法

(1) チーム参加

医師、看護師、業務調整員（メディカルスタッフ及び事務職員等）で構成する1施設あたり4～5名でのチーム参加。

(2) 個人参加

上記(1)を満たさない者であっても個人参加という形態での参加応募を認める。

消防、警察は個人参加とし、各チームに消防1名、警察1名の配置を基準とする。

(3) オブザーバー参加

消防、警察はオブザーバー参加を可能とする。

9 内容（予定）

(1) 講義

C B R N E 災害の特徴、初動対応、汚染拡大防止 等

(2) 机上演習

事故対応、現場活動、病院受け入れ 等

(3) 実習

診療実習、安全管理（個人防護・脱衣）、傷病者受入れ 等

10 受講料 無料

11 修了証書の交付

所定の研修（実動訓練含む）を受講した者には、県が修了証書を交付する。

12 留意事項

(1) 研修会場・実動訓練会場までの交通手段について

公共交通機関の利用及び徒歩での移動をお願いいたします。

研修開催日の2日間は、福島市駅前周辺で開催される『秋の例大祭』（令和6年来場者数15万人、神輿・山車・露店等）及びその他の『各種イベント』と重なっており、大変な混雑が予想されます。

(2) 駐車場について

県庁前外来駐車場は各種イベントで市民の方々が利用されます。研修受講者・実動訓練参加者及び講師の方々等への無料処理は致しませんので、ご理解のほどお願いいたします。また、近隣の駐車場も混雑が予想されますので、ご注意ください。

(3) 昼食・飲食について

ア 各自のご判断で昼食をご準備頂きますようお願い致します。

運営側では飲食物の準備は致しません。

イ 近隣にコンビニはありますが、各種イベントが行われておりますので、品揃えが十分でない場合も考えられます。飲食物は、余裕を持ってご準備ください。

ウ ゴミは、各自でお持ち帰り下さいますようお願い致します。

(4) 研修・実動訓練で使用する備品・消耗品等の準備について

タイベックスーツ、面体、ゴム手袋、綿手袋など研修・実動訓練で使用する備品・消耗品等は、ご所属の医療機関等から使用期限切れのものを融通いただくなどして、各自ご準備ください。

(5) 不明な点は、福島県地域医療課担当までご連絡ください。

13 会場図

JR 福島駅東口から研修会場・実動訓練会場までの経路（徒歩）

